

向陽ヶ丘病院について

1 オホーツク第三次医療圏域における精神科医療提供体制について

(1) 主な精神科医療機関の状況

(令和4年4月現在)

区分	名称	所在地	開設者	精神 病床数 (許可)	医療機能						
					措置 入院	応急 入院	救急 医療	認知症 センター	デイケ ア等	訪問 看護	児童 外来
病院	道立向陽ヶ丘病院	網走市	北海道	105	○	○	○	○	○	○	○
	北見赤十字病院	北見市	日 赤	40	○		○	○	○	○	
	玉越病院	北見市	医療法人	110					○	○	
	端野病院	北見市	医療法人	140					○	○	
	遠軽学田病院	遠軽町	医療法人	135						○	
合 計				530	2	1	2	2	4	5	1

(2) 精神科救急医療の状況

- 道では、休日・夜間等において、精神疾患の発病や症状の再燃により速やかに精神科医療を必要とする者に対し診療を行い、必要に応じて入院させる体制を全道8圏域で輪番制によりを確保。
- オホーツク圏域においては、道立向陽ヶ丘病院と北見赤十字病院が輪番病院に指定。

【救急医療件数】

病 院 名	H31(R1)	R2	R3
道立向陽ヶ丘病院	34	32	21

【輪番時救急医療件数】

病 院 名	H31(R1)	R2	R3
道立向陽ヶ丘病院	9	10	20
北見赤十字病院	53	58	45
合 計	62	68	65

(3) 児童・思春期精神科医療における役割

- 道立向陽ヶ丘病院が、緑ヶ丘病院のサテライトとして実施している。

【児童発達外来サテライト診療件数（実施件数）】

H31(R1)	R2	R3
29件	24件	24件

2 向陽ヶ丘病院の診療実績等について

(1) 沿革

年 月	内 容
S29. 4	・向陽ヶ丘病院開設（病床数 90 床）
S45. 4	・旧病院新築（病床数 200 床）
H3. 3	・応急入院指定病院の指定
H8. 3	・デイケア施設完成
H8. 7	・精神科デイケア施設基準の届出
H11. 8	・北海道精神科救急医療システム事業病院の指定
H15. 11	・児童発達外来サテライト診療の実施
H16. 4	・医療保護入院等診察料の施設基準の届出
H24. 3	・許可病床数 200 床→146 床に変更
H26. 4	・認知症疾患医療センターの指定
H28. 6	・新病院（現庁舎）運用開始（許可病床 105 床）

(2) 病院概要

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

区 分	現 行
診 療 科	精神科、心療内科
病 床 数	105 床（3 階病棟（開放・閉鎖）56 床、4 階病棟（閉鎖）49 床）
職 員 数	84 名（医師 5、看護師 54、医療技術者等 11、精神保健福祉士・判定員など 5、事務 9）
特徴等	<ul style="list-style-type: none"> ・オホーツク第三次医療圏における精神科救急・急性期医療の中心的役割 ・認知症疾患医療センターを設置し、認知症専門医療を実施 ・精神科救急医療システム指定病院、精神科応急入院指定病院

(3) 医師、看護師数の推移

(各年度 4 月 1 日現在)

区 分	H31(R1)		R2		R3		R4	
	定数	現員	定数	現員	定数	現員	定数	現員
医師	6	5	6	5	6	5	6	5
看護師	56	54	56	56	55	54	55	54

※看護師には准看護師を含む。

【各年度現員数（4 月 1 日現在）】

年度	医師	看護師	薬剤師	放射線技師	検査技師	管理栄養士	作業療法士	精神保健福祉士判定員等	事務職員	計
H31	5	54	2	3	2	1	2	4	8	81
R2	5	56	1	3	2	1	3	5	9	85
R3	5	54	1	3	2	1	3	4	9	82
R4	5	54	2	3	2	1	3	5	9	84

(4) 病棟別病床数及び入院平均患者数

(単位：床、人)

区 分	許可病床数	入院平均患者数			患者病態
		H31(R1)	R2	R3	
3 階病棟	56	26.7	29.6	30.4	認知症、身体合併症、回復期統合失調症等
4 階病棟	49	26.8	30.9	31.8	急性期統合失調症等
計	105	53.5	60.6	62.1	※ 3 階内訳（23 床：閉鎖 33 床：開放）

(5) 疾病別、入院期間別患者内訳 (R4.3.31 現在、括弧内はR元.11.30 現在) (単位:人)

区分	10年超	5~10年	1~5年	6月~1年	3~6月	3月未満	計
統合失調症	3(3)	5(3)	14(10)	2(6)	3(2)	9(9)	36(33)
認知症	0(0)	0(0)	1(1)	3(2)	4(3)	3(2)	11(8)
その他	0(0)	1(0)	3(1)	3(0)	0(2)	4(10)	11(13)
計	3(3)	6(3)	18(12)	8(8)	7(7)	16(21)	58(54)

(6) 他院への転院件数

H31(R1)	R2	R3	主な転院先
30件	30件	15件	網走厚生病院、こが病院、網走中央病院

※身体合併症等の患者で精神疾患以外の疾病で他院に転院(搬送、紹介)した件数

(7) 1日平均患者数の推移

区分	年度	H31(R1)	R2	R3
	病床数(運用)	105床	105床	105床
入院	1日平均患者数	53.4人	60.6人	62.1人
	病床利用率	50.9%	57.7%	59.2%
外来	1日平均患者数	104.2人	103.1人	99.9人

(8) 認知症疾患医療センター(H26.4 開設)利用状況

区分	H31(R1)	R2	R3
新規患者数	198人	237人	221人
1日平均患者数	0.83人	0.98人	0.91人

(9) 精神科デイケアの状況(大規模型~1日定員50人)

区分	H31(R1)	R2	R3
年間件数 (日平均)	5,528件 (23.0件)	5,842件 (24.0件)	4,995件 (20.6件)
実施体制	~R1.5 医師1、看護師2、PSW1、OT1 R1.6~ 医師1、看護師1、PSW1、OT1 R4.4~ 医師1、看護師1、PSW1、OT2		
実施日程	週5日実施		

(10) 精神科訪問看護の状況

区分	H31(R1)	R2	R3
年間件数 (日平均)	2,809件 (11.7件)	3,195件 (13.1件)	2,866件 (11.8件)
実施体制	H29~ 地域連携科看護師4名(うち臨時職員1) R1.6~ 地域連携科看護師6名(うち臨時職員1) R4.4~ 地域連携科看護師5名		
訪問日程	週5日実施(H26~)		

(11) 収支状況等について

区 分			H31(R1)		R2		R3		
			(単位)	プラン	実績	プラン	実績	プラン	実績見込
収益的 収支	収 益 A	(百万円)	907	742	910	790	740	745	
	費 用 B	(百万円)	1,661	1,663	1,676	1,635	1,701	1,667	
	収 支 差 C=A-B	(百万円)	▲ 754	▲ 921	▲ 766	▲ 845	▲ 961	▲ 922	
機能 指標	病床利用率	(%)	80.0	51.0	81.0	57.7	57.4	59.2	
	医業収支比率	(%)	45.9	34.6	45.6	38.3	36.5	37.3	
	医薬材料費対医業収益比率	(%)	12.1	14.3	11.9	13.6	14.9	12.9	
	後発医薬品使用割合	(%)	72.0	89.1	74.0	86.6	85.0	82.3	
	認知症疾患医療センター新規患者数	(人)	170	198	170	237	190	221	
	訪問看護件数	(件)	2,200	2,809	2,200	3,195	2,900	2,866	
	デイケア件数	(件)	8,300	5,528	8,300	5,842	6,000	4,995	
	入 院	1日平均患者数	(人)	84.0	53.4	85.0	60.6	60.3	62.1
		患者1人1日当たり収益	(円)	15,260	16,232	15,260	16,533	16,247	16,274
	外 来	1日平均患者数	(人)	130.0	104.2	130.0	103.1	103.1	99.9
患者1人1日当たり収益		(円)	8,044	9,067	8,044	9,246	9,335	9,024	

3 北海道病院事業推進委員会からの評価・意見

H30	○周辺自治体や医療機関、福祉事業所などと意見交換を行い、患者の確保に向けて、地域から求められる病院機能について検討すること。
R 元	○1日一人当たり収益が目標を達成し、入院収益が前年度を上回るなど、収益の確保に向けた取組を進めていることは評価する。 ○デイケアや認知症対策の充実など、地域から求められる病院機能を発揮するよう努めること。 ○今後の患者動向等を見据え、精神科医療を取り巻く環境変化に的確に対応した病院運営に努めること。
R2	○地域連携室等が中心となり、関係機関との積極的な連携を図ったことにより患者数の増につながり、入院、外来収益が前年度を上回るとともに、収支差が目標を達成したことは評価する。引き続き地域との連携を図りながら、病院機能の発揮に努めること。 ○今後の患者動向等を見据え、精神科医療を取り巻く環境変化に的確に対応した病院運営に努めること。

4 向陽ヶ丘病院の現状、課題及び方向性について

(1) 現状

- 精神科救急医療の輪番制に参加し、オホーツク第三次医療圏における精神科救急・急性期医療の拠点としての役割を担っています。
- 認知症疾患医療センターを中心として認知症専門医療を提供しており、同センターにおける新規患者数は200人前後で推移しています。
- 「入院医療中心から地域生活中心へ」という国の方針に沿って患者の地域移行を進める中、急性期治療後の在宅患者支援のため、精神科デイケア、訪問看護を実施しています。
- 児童・思春期精神科医療について、圏域で唯一、緑ヶ丘病院のサテライトとして実施しています。

(2) 課題

- 患者数が減少傾向にあることから、地域から求められる病院としての機能を検討する必要があります。
- デイケア件数が減少していることから、医療ニーズに即したプログラムの充実等の検討が必要です。

(3) 方向性について

- 精神科救急医療体制に引き続き参加し、オホーツク第三次医療圏における精神科救急医療の拠点として、他の医療機関と連携・分担しながら、引き続き現行の精神科救急医療を担います。
- 急性期治療後の在宅患者支援の一層の充実を図るため、今後とも精神科デイケアや訪問看護を積極的に実施し、「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築を推進します。
- 認知症疾患医療センターを中心とした認知症専門医療、児童・思春期精神科医療について、他の医療機関等と連携を図るとともに、引き続きその機能を担います。